取扱説明書

EHEIM professionel5e

エーハイムプロフェッショナル5e 2274

目　次

1-2 — 安全にお使いいただくために
3 — 本製品ご利用について
4 — 無線LANに関するご注意
5 — 本製品の特徴/製品仕様
6 — 内部模式図/各種電子制御機能について
7 — 各部の名称
8-9 — パッケージの中をご確認ください/設置場所/セット時のご注意
10 — エーハイムバイオメックとメックプロのご紹介
10~13 セットの手順
14~15 本体無線LANとデバイスの接続について
16~18 点検、お手入れ
19 — 主要部品図
20~21 故障かな?と思ったら
23 — アクセサリー表



●このたびは、エーハイムプロフェッショナル5e2274をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
●安全にお使いいただくために、取扱説明書の警告・注意をよくお読みください。この説明書は必ず保管してください。
●本製品には保証書がついています。保証書は必ずご使用前にお読みいただき、必要事項が記入されているかご確認の上、大切に保管してください。
●正しくお使いいただくために、十分に理解してからご使用ください。お読みになった後は保存し、必要なときにお読みください。
●p1・2の「安全にお使いいただくために」をよくお読みの上、正しくお使いください。

※イラストなど、実物と異なる場合がありますが、使用方法をご理解いただくうえで問題はございません。あらかじめご了承ください。

本製品は観賞魚用品です。他の目的では使用しないでください。誤った使用方法や本来の目的以外の使用、勝手な改造、修繕などによる故障、その他の影響などにつきましては一切補償いたしかねます。

本製品は、本体内蔵の無線LANとご家庭の無線LAN（Wi-Fi）を接続して操作します（※）。以下無線LAN規格に対応したデバイス（スマートフォン、タブレット、PC等）およびご家庭の無線LAN（Wi-Fi）環境をご用意ください。

・無線LAN規格:IEEE802.11b/g/n ・送受信周波数:2.4GHz−2.5GHz（5GHz帯ではご使用いただけません）

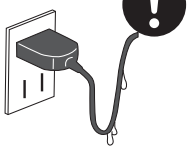
※ご家庭の無線LAN(Wi-Fi)と接続せずにご使用いただくことも可能ですが、端末操作および機能が制限されます。
※Wi-Fiスポット、公衆無線LANサービス、一部のポケットWi-Fiなど、機器間の通信ができない環境では操作がおこなえません。

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために警告･注意などをよく読み、よく理解してからご使用ください。間違った使い方は、人や生体への影響、器具類の故障、感電、火災などの重大な事故の原因となりますので、絶対に避けてください。

⚠警告

一般的な禁止の通告　　使用者の行為を指示する表示

正しい電源電圧（ＡＣ１００Ｖ）および周波数（50/60Hz）以外での電源使用はしないでください。	生体の出し入れ、掃除、点検、移動などのために水槽内部に手を入れる時は、必ずすべての電源を抜いてください。（感電の恐れあり）
水漏れ、破損、ポンプの故障の際は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出たり、異臭がしたら、直ちに電源プラグを抜いてください。	湯気など湿気の多すぎるところ、ホコリの多い場所では使用しないでください。（感電、発火、故障の恐れあり）
本製品の電源のON/OFFは必ず電源プラグの抜き差しでおこなってください。また、電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。（感電、発火の恐れあり）	引火性のもの（ガソリン、シンナーなど）の近くで使用しないでください。
電源プラグの刃やコンセントの汚れは、定期的に取り除いてください。（発火の恐れあり）	電源コードは必ずループ状にたわませて設置してください。万一本体から漏水が発生した際、電源コードからコンセントに水が伝わって漏電する事故を予防することができます。（漏電、感電の恐れあり）
電源コードに水が伝わってしまった場合は、電源プラグを抜かず、直ちに元電源のブレーカーを遮断したあと、電源プラグを抜いて、状況を確認してください。	
本体を落としたり、ぶつけたりして傷をつけないでください。（感電、発火、故障の恐れあり）	水を吸っていない（呼び水をおこなっていない）状態での空運転はおこなわないでください。（故障、発火の恐れあり）
通電前に、本体、配管から水漏れがないか必ず確認してください。	使用しないときは電源プラグを必ず抜いてください。（故障、発火の恐れあり）
電源プラグやコンセント部を濡らしたり、濡れた手で触らないでください。また、濡れた手で電源プラグの抜き差しをおこなわないでください。（感電の恐れあり）	電源アダプターは防水仕様ではありません。絶対に濡らしたり、濡れた手で触らないでください。濡らした場合は再使用しないでください。

⚠注意

本製品は日本仕様として製造されています。国内でのみお使いください。	屋内専用です。屋外では使用しないでください。
本製品は、無線LANを経由して操作します。無線LANに対応したデバイス（スマートフォン、PC、タブレット等）を用意してください。	

本製品のご使用時における生体の病気などの補償はいたしかねます。予めご了承ください。

電源コードは経年劣化により硬化してひび割れを起こすことがあります。定期的に点検をおこなってください。(感電、発火の恐れあり)

電源プラグは、コンセント口の奥まできちんと差し込んでください。コンセントの容量を超えたタコ足配線やテーブルタップ(延長コード)の使用はおこなわないでください。(発火の恐れあり)

気泡を含んだ水を本体内に通さないでください。インペラーユニットなどの劣化を早める原因となります。

小さなお子様に操作させたり、さわったりさせないでください。
(水漏れ、故障、感電の恐れあり)

本製品は磁界および電波を発生させるため、磁気媒体をはじめとした磁気の影響を受ける機器は近づけないでください。また、ペースメーカーをはじめとする磁気および電波の影響を受ける可能性のある医療機器や精密機器をご使用の場合は、それらの機器類の取り扱い説明書に記された安全距離を必ず保つようにしてください。

弱った魚や稚魚・小型魚が水槽のガラス壁とパイプ等の間に挟まれたり、ストレーナー部から吸い込まれる場合があります。予めご注意ください。

1日に1度は正常に作動しているか確認してください。
異常が発生した場合は直ちに使用を中止し、生体の安全の為の適切な処置をおこなってください。

各部に使用されているOリングは、いずれも経年劣化しますので、劣化が認められたら交換してください。Oリングが劣化したまま使用しつづけると、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

電源コードを傷めないでください。曲げすぎない、引っ張らない、重量をかけない、たばねない、加工しないなど。
(感電、発火の可能性あり)

電源コードにつまづいたり、引っ掛けてしまわないよう取り付け、取り回しにご注意ください。

本体内にゴミや砂利などの異物が入った状態では使用しないでください。

本製品は水槽よりも低くなる位置で、フィルター本体の底と水槽水面との高低差が最大180cm以内になる安定した場所に設置してください。

本製品を電子機器、精密機器、楽器など、水分、塩気を嫌う製品のそばに設置しないでください。
(これらの製品が故障する恐れがあります)

作動中のインペラーには触らないでください。
(ケガ、故障の恐れあり)

電源アダプターは水がかからない場所に設置してください。

電源アダプターは風通しの良い床面に設置し、布などをかぶせたり、物を置いたりしないでください。電源アダプターの放熱を妨げる設置は行わないでください。

電源アダプターのDCプラグの抜き差しによる電源のON/OFFは行わないで下さい。故障の原因となります。

電源アダプターの誤った設置は、製品の故障や火災の原因となる恐れがあります。

定期的に各部を掃除し、汚れの付着や目詰まりなどを防いでください。本製品は水冷式モーターですので、汚れや目詰まりなどは大敵です。特にモーター内部駆動部分の掃除や取り付けスポンジ類の掃除は忘れがちですので本書に従って定期的に実施してください。

各種パッド類やろ材はエーハイムの専用品をお使いください。またろ材は入れすぎないでください。流量低下・異音の原因となります。

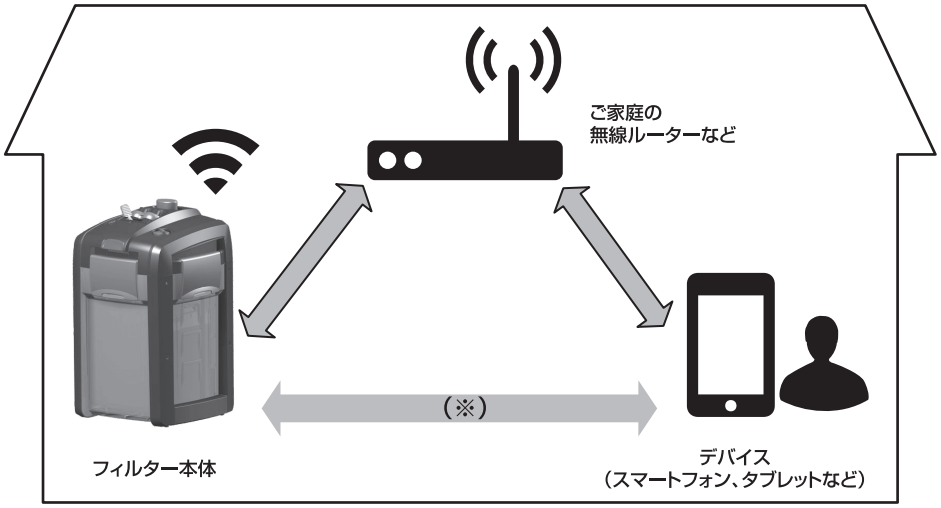
その他のご注意・お願い

●本製品は梱包など万全を期しておりますが、ご使用になる前に必ず破損など異常がないかをチェックしてください。破損などが見つかった場合はそのままご使用せずにお買い上げ店にお申し出ください。
●適合水槽は魚の数、環境によって異なります。海水魚、大型魚などを飼育する場合は、他フィルターの併用や匹数の調整をおこなってください。
●お手入れの際は、熱湯、アルコール、シンナー、洗剤などは使用しないでください。製品の品質劣化、生体への悪影響の恐れがあります。ぬるま湯に浸した布や、柔らかいブラシを使用してください。
●他の人に譲渡される場合は、必ず、この取扱説明書と、保証書も一緒にお渡しください。
●フィルターの目詰まり、故障に備えて、エアーポンプによるエアレーションの併用、または補助フィルターを併用してください。
●設置場所によってはクッションラバーの跡やフィルターケースカバーの跡が残る場合がありますのでご注意ください。
●本製品は、改良のため予告なく仕様・デザインを変更することがあります。予めご了承願います。

本製品のご利用について

本製品は、本体内蔵の無線LANとご家庭の無線LAN（Wi-Fi）を接続して操作します（※）。無線LAN規格に対応したデバイス（スマートフォン、タブレット、PC等）およびご家庭の無線LAN（Wi-Fi）環境をご用意ください。

※インターネット（ご家庭の無線LAN（Wi-Fi））と接続せずにご使用いただくことも可能ですが、端末操作および機能が制限されるため、おすすめいたしません。
※本製品とインターネットとの接続は無線LAN（Wi-Fi）に限ります。有線LANによる接続はできません。
※Wi-Fiスポット、公衆無線LANサービス、一部のポケットWi-Fiなど、機器間の通信ができない環境では操作がおこなえません。
※全てのユーザー様環境における性能・動作の保証はいたしかねます。



無線LAN対応規格	IEEE802.11b/g/n
送信電力	16±2 dBm
送受信周波数	2.4GHz–2.5GHz （チャネル 1–11/2412 MHz–2462 MHz） （5GHz帯ではご使用いただけません）
操作電圧	3.0～3.6V
消費電流	平均80mA

ソフトウェアパラメーター

アクセスモード	station/softAP/SoftAP+station
セキュリティ	WPA, WPA2, WPA/WPA2

※Wi-Fi、WPA、WPA2はWi-Fi Allianceの商標登録または商標です。
※BluetoothはBluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標です。
※その他本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または商標登録です。

無線LANに関するご注意

●本製品のモーターヘッド部は絶対に分解・改造しないでください。
改造した機器を使用した場合は電波法に違反します。

本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規制を遵守しております。本製品内部の分解・改造をおこなった場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に違反します。故障の際は弊社カスタマーサポートに修理をご依頼ください。

●本製品は無線によるデータ通信を行う装置です。本製品の不具合、誤動作、または停電、回線障害、その他の外部要因によって通信障害が発生したために生じた損害等については、弊社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●本説明書は、無線LAN対応デバイス（スマートフォン、タブレット、PC）の基本操作ができる前提での説明となりますのでご了承ください。
また、デバイスの操作や接続環境に関するご質問やお問い合わせについてはお答えできかねますのでご理解ください。

●本製品を含むエーハイムのWi-Fi製品を複数台接続する場合は、それぞれの機器の距離はおよそ10m以内の範囲でご使用ください。機器同士が遠すぎたり、電波を通しにくい環境では複数台の接続が難しい場合があります。

●本製品が金属物で囲まれていたり、デバイスとの間に金属や鉄筋コンクリートなど電波を通しにくい物がある場合は、電波のノイズを受けたり到達距離が短くなるなどで通信できないことがあります。

●本製品は、心臓ペースメーカーの装着部位から20cm以上離して使用してください。
本体からの電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

●本製品は下記の機器などからの電波の影響を受けることがあります。できるだけ離してご使用ください。
•加熱調理中の電子レンジ　•ワイヤレスAV機器（テレビ・ステレオ・PCなど）　・アマチュア無線局
•ゲーム機のワイヤレスコントローラー　•Bluetooth対応機器　など

●無線LANは電波を使ってデータを送受信するため、不正アクセスを受ける恐れがあります。
無線LANのご使用にあたってはその危険性を十分にご理解いただいたうえで、データの安全性を確保するためセキュリティ設定を行ってください。

●本製品の修理を依頼する際は、すべての設定を初期化（工場出荷時の状態にリセット）し、Wi-Fi接続設定やメールアドレス登録を消去してください。
故障の状態により、操作が困難な場合は弊社カスタマーサポートまでご相談ください。

➡ 無線LAN接続の方法については、p14-15をご確認ください。

本製品の特徴／製品仕様

【呼び水レバー】 1



呼び水レバーを押すことにより、フィルターケース内に呼び水をおこなうことができます。

【ホースアダプター】 2



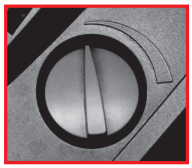
吸水、排水のホースを接続します。モーターヘッドとホースアダプターは着脱が容易で、メンテナンスの際などにとても便利です。

【EZクリップ 】 3



ポンプヘッドの固定と取り外しを簡単におこなうことができます。

【エクステンダーノブ 】 4



細目フィルターパッドが目詰まりして流水量が低下している場合、エクステンダーノブを使用して流水量を一時的に増加させることができます。すぐに掃除をおこなう時間がない場合は、この機能によって生物濾過能力を維持しながら、フィルターの掃除のタイミングを2～3日延期することができます。

【プレフィルターコンテナ】 A



フィルターケース内の最上部に設置するコンテナで、簡単に取り出しメンテナンスすることができます。

（P6の内部模式図参照）

【吸水受け入れ孔】 B



吸水口からフィルターケース内に導かれた「汚れた飼育水」は、この孔からいったんプレフィルターコンテナの底に落ち、プレフィルター専用粗目パッドを下から上へ通過します。

【吸水サポート部】 C



プレフィルター専用粗目パッドを通過し、粗いゴミをこし取られた「汚れた飼育水」は、この部分からフィルターケース最下部へと導かれます。

【逆流防止弁】 D



フィルターケース内でろ過され、「きれいになった飼育水」が一方通行でポンプに送られるよう、ポンプの下に逆流防止弁が付いています。

機種	エーハイム プロフェッショナル5e 2274
エーハイムコード	2274330
ポンプ性能	1500ℓ/h(理論値)
最大揚程	2.2m
定格電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	10～35W
ホース径	吸･排水ともに 16/22mm
ろ過槽	約7.4ℓ
ろ材コンテナ	1.5ℓ×3個 0.5ℓ×1個(プレフィルター)
付属ろ材	プレフィルター用粗目パッド 細目パッド サブストラット プロ メックプロ バイオメック
本体寸法	244×238×398mm
適合水槽	60～90cm(約57～157ℓ)
用途	淡水･海水両用、屋内専用

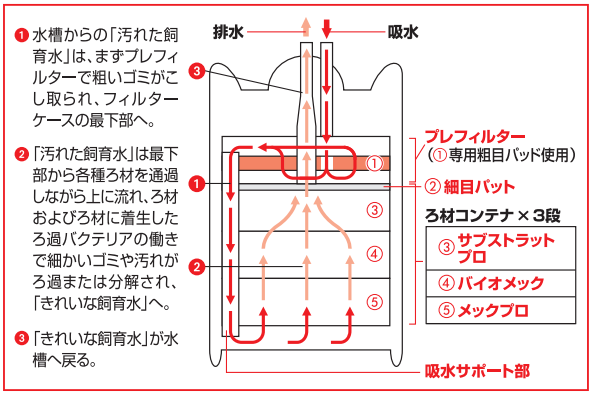


5 ※ポンプ性能とは、モーター部分を単独運転させたときの理論上の最大流量を示します。使用環境により実際の流量とは異なります。

内部模式図

エーハイムプロフェッショナル5e 2274では、プレフィルターおよびその他のろ材をそれぞれ別のコンテナに入れてセットする仕組みになっており、フィルターケースの最上部にプレフィルターをセットする構造になっています。そのため、他のろ材には手をつけることなく、プレフィルターだけを簡単に取り出して洗浄することができます。

プレフィルターは、大きなゴミがろ材に直接進入することを防ぎます。プレフィルターを定期的に掃除することは、他のろ材の掃除をおこなう頻度の低減に役立ちます。



各種電子制御機能について

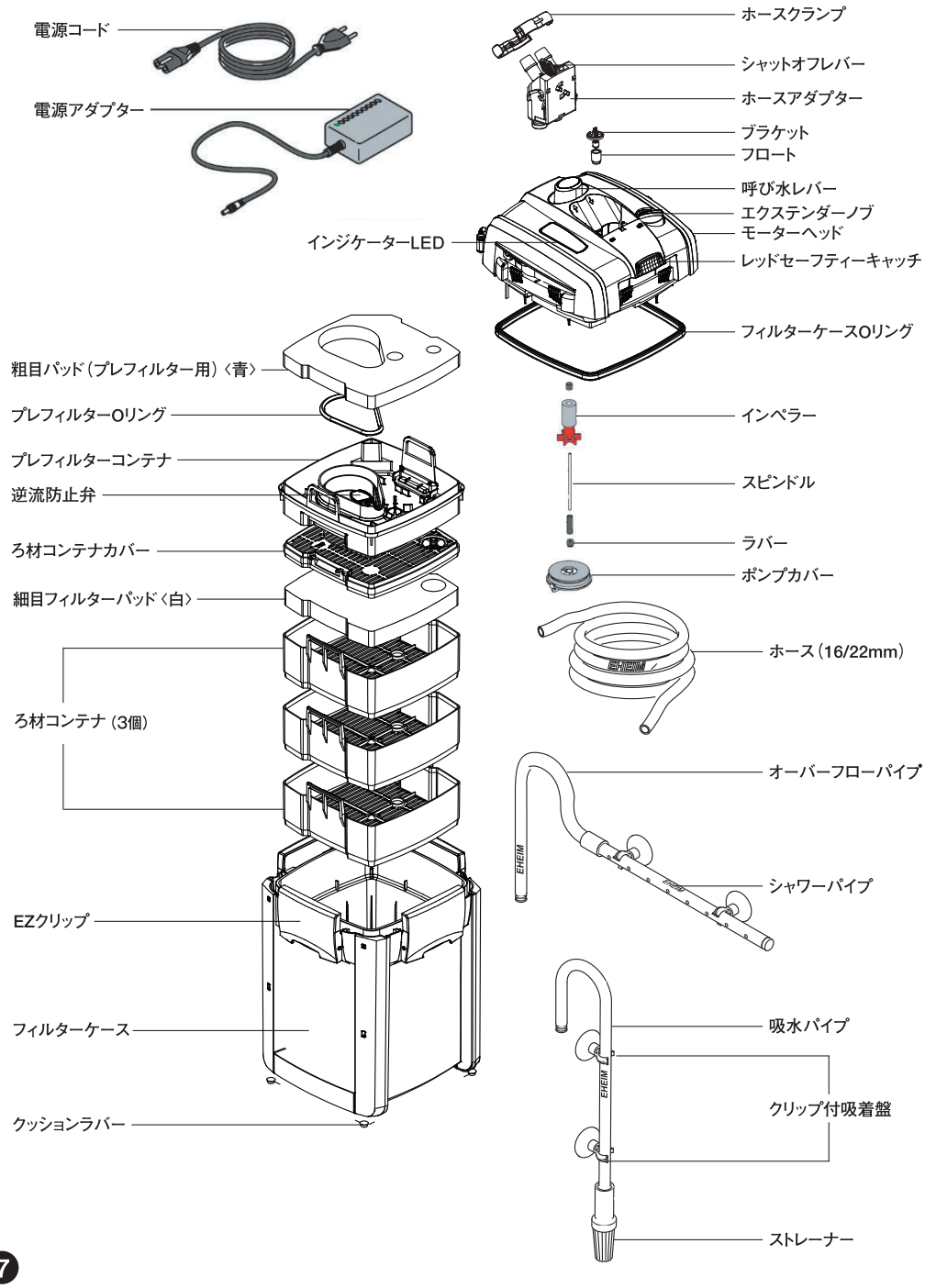
以下の電子制御機能は、無線LAN経由でのソフトウェア操作を必要とします。無線LANに対応したデバイス(スマートフォン、PC、タブレット等)を用意してください。

	Constant Flow - With automatic control **コンスタントフロー(自動コントロール)** ろ材の汚れ等によって流量が低下するとそれを感知して、設定した流量が維持できるように、自動的にインペラーの回転数を自動制御します。
	Bio mode - With Day & Night control **バイオモード(昼&夜コントロール)** 昼間と夜間で流量を変更し、飼育されている魚や生き物に合わせた水流を調整することができます。
	Pulse mode - Flow function **パルスモード(ストリームファンクション)** 一定の間隔で、流量の強/弱を繰り返す機能で、生き物が生息する自然環境を模した水流を再現することができます。強/弱それぞれの流量と持続時間を設定でき、セットすると持続的に運転します。
	Manual mode - Without automatic control **マニュアルモード(自動コントロール無)** 電子制御機能を行わない設定です。インペラーの回転数の設定により流量を調整することが可能ですが、ろ材の汚れ等による流量低下時の自動調整機能は作用しません。

※マニュアルモード以外の各モードで設定可能な最大流量値は、自動制御機能が正常に作動するように余力を持って設定されており、パッケージ・仕様表などに記載のあるポンプ性能の流量値とは異なります。

➡ 無線LAN接続の方法については、p14-15をご確認ください。

各部の名称

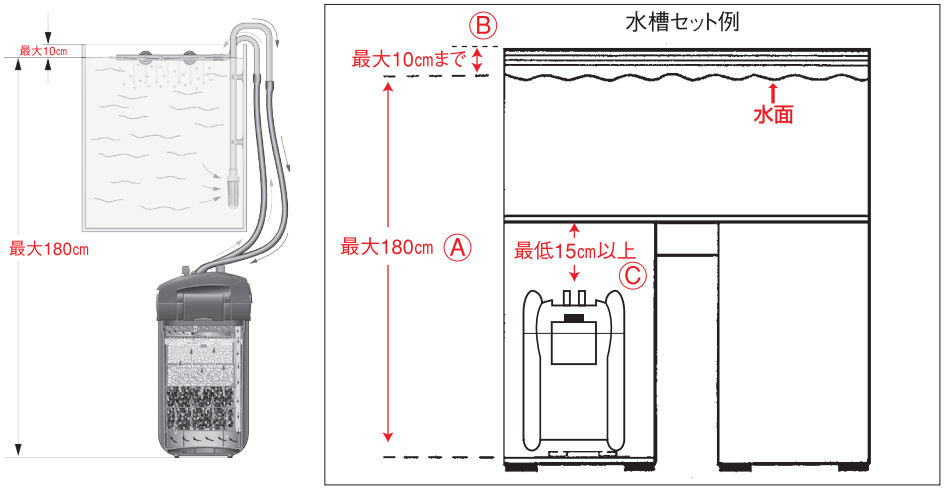

電源コード
電源アダプター
インジケーターLED
ホースクランプ
シャットオフレバー
ホースアダプター
ブラケット
フロート
呼び水レバー
エクステンダーノブ
モーターヘッド
レッドセーフティーキャッチ
フィルターケースOリング
インペラー
スピンドル
ラバー
ポンプカバー
ホース（16/22mm）
オーバーフローパイプ
シャワーパイプ
吸水パイプ
クリップ付吸着盤
ストレーナー
粗目パッド（プレフィルター用）〈青〉
プレフィルターOリング
プレフィルターコンテナ
逆流防止弁
ろ材コンテナカバー
細目フィルターパッド〈白〉
ろ材コンテナ（3個）
EZクリップ
フィルターケース
クッションラバー

パッケージの中をご確認ください。

【2274】



設置場所／セット時のご注意



●フィルターは、傾けて使用したり寝かせて使用せず、正しい位置で使用してください。

●本製品を設置する場所は、モーターヘッドの上の部分が水槽より低くなるようにしてください。ただし、図のように、水面と本製品の底面の高低差が最大180cmまでⒶになるようにセットしてください。なお、呼び水レバーによる呼び水機能を確実にするため、水槽上縁から水面までの高低差は、最大で10cmまでⒷとしてください。また、本製品をキャビネット内に設置する場合は、ホースアダプターの着脱やメンテナンス時の利便性を考慮して、本製品の上部に15cm以上Ⓒの空間を確保することをおすすめします。

●本製品の設置場所によっては、付属のホースでは長さが足りない場合があります。その場合は、別途エーハイム純正ホース(4005843:φ16／22mm)をお求めください。ホースはたるませないように設置してください。

●最初のフィルターセットの時は流量(工場出荷時)が強くセットされております。シャワーパイプの向きなどにご注意ください。
●1日に一度、約1分間、自動流量検知(Auto　Calibration)の機能が働きます。一時的に流量が強くなりますのでこの事を考慮して水槽サイズをお選びください。
●クーラー、プレフィルター、ディフューザーのような器具との接続は可能ですが、配管抵抗がかかることで、実際の流量、汚れ具合、次回の清掃タイミングが正しく表示されない場合がございます。そのため上記のような機器やアクセサリーを接続する場合、マニュアルモードでの運転もしくは、別系統のフィルター／ポンプでの使用をオススメします。

エーハイム バイオメックとメックプロのご紹介

サブストラットプロ



物理ろ過／生物ろ過用ろ材
通水性に優れた多孔質構造で、バクテリアの定着、増殖に適しています。
淡水海水両用　pH中性

バイオメック

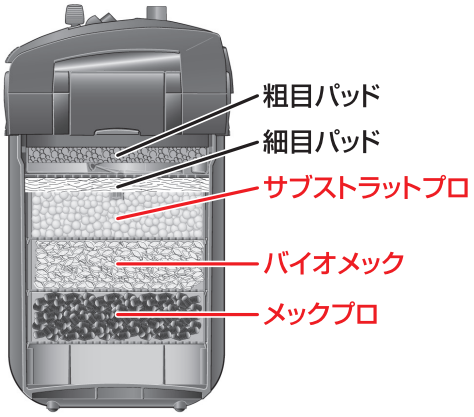


物理ろ過／生物ろ過用ろ材
中央のくぼみがゴミのこし取りに役立ちます。多孔質構造でバクテリアの定着、増殖に適しています。
淡水海水両用　pH調整済み

メックプロ



物理ろ過／生物ろ過用ろ材
軽くて取り扱いが簡単です。特殊プラスティックにほどこされたユニークな形状がゴミをこし取る（物理ろ過）作業を効率的かつ確かなものにします。独特な形状で、バクテリアの定着にも適しています。
淡水海水両用

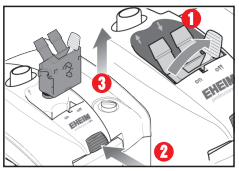


セットの手順

全ての作業は電源プラグをソケット/コンセントより抜いて（はずして）作業してください。

I モーターヘッドの取り外し／ろ材のセット

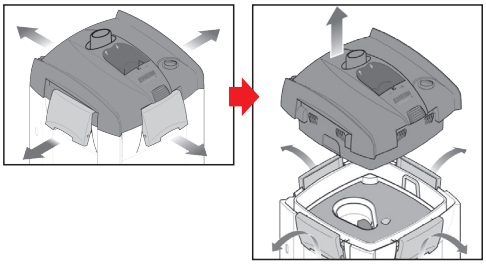
❶ホースアダプターの取り外し



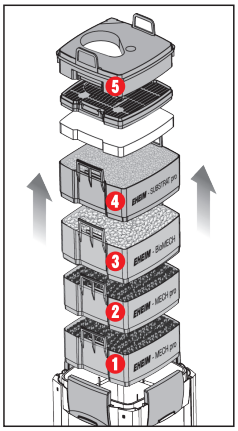
❶シャットオフレバーを「OFF」の位置にする
❷レッドセーフティキャッチを押す
❸ホースアダプターを外す（真上方向）

❷モーターヘッドの取り外し

フィルターケースの側面4箇所にあるEZクリップを解除し、モーターヘッドを取り外します。



❸フィルターケースからろ材コンテナの取り出し



フィルターケースの中から、プレフィルターコンテナ、ろ材コンテナを全部取り出します。

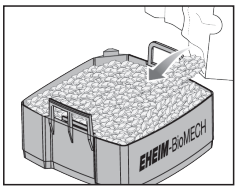
ろ材コンテナには取っ手がついています。ろ材コンテナを取り出す際は、取っ手を持ってください。

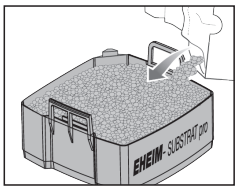
なお、最上段のろ材コンテナにはろ材コンテナカバーが付いた状態となっています。

❺プレフィルターコンテナ
❹
❸ろ材コンテナ
❶

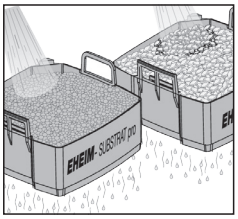
❹ろ材の洗浄

最上段に入っていたろ材コンテナについているろ材コンテナカバーを外し、細目フィルターパッドを取り出します。

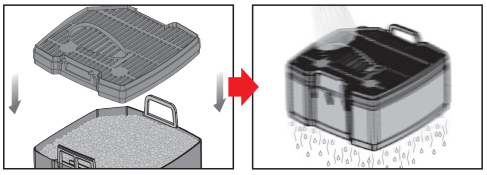




サブストラットプロとバイオメックは、ビニール袋に入った状態でろ材コンテナに入っていますので、ビニール袋からだしてろ材コンテナに入れ直します。



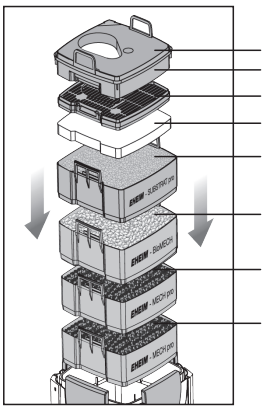
ろ材コンテナにろ材が入った状態のままで、流水で濁り水が出なくなるまで十分に洗浄します。



その後、ろ材の入ったろ材コンテナに、取り出しておいた細目フィルターパッドを乗せて、ろ材コンテナカバーを取り付けます。この状態で、流水の下でろ材コンテナを動かしながら再度洗浄します。
※ご注意:細目フィルターパッドをろ材に乗せずにろ材コンテナカバーを取り付け、ろ材コンテナを動かして洗浄すると、ろ材が崩れやすくなりますので、必ず細目フィルターパッドを入れてください。

この作業を各ろ材コンテナでおこないます。

❺ろ材コンテナ／ろ材のセット（フィルターケースに入れる）



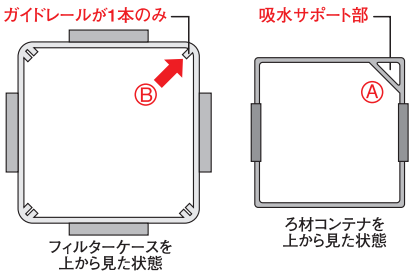
プレフィルター用粗目パッド
プレフィルターコンテナ
ろ材コンテナカバー
細目パッド
サブストラットプロ
バイオメック
メックプロ
メックプロ

※細目パッドの位置にご注意ください。

フィルターケース内の一番下にエーハイムメックプロの入ったろ材コンテナを入れます。次に、エーハイムバイオメックの入ったろ材コンテナを入れます。最後に、サブストラットプロに細目フィルターパッドを乗せ、ろ材コンテナカバーを取り付けたろ材コンテナを入れます。

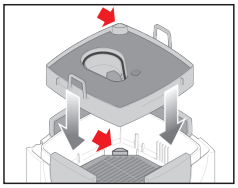
ご注意: 別売の専用活性炭パッド（2628710）をあわせて使用する場合は、最上段のろ材コンテナの細目フィルターパッドの下に重ねてください。

ろ材コンテナセット時のご注意



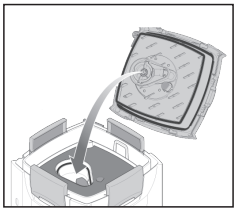
ろ材コンテナの吸水サポート部Aが、上図の矢印部Bの向きになるようにフィルターケース内へセットします。

❻プレフィルターコンテナのセット



フィルターケースに粗目フィルターパッド（ブルー）を入れたプレフィルターコンテナを入れます。このとき、プレフィルターコンテナと吸水サポート部がしっかり接続（赤矢印部分）されているか確認してください。

❼モーターヘッドの装着

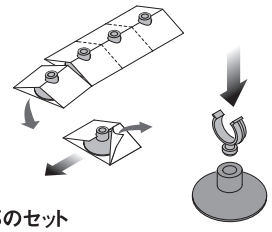


フィルターケースにモーターヘッドを装着します。この際、Oリングにねじれがないか、異物がひっかかったり挟まったりしていないかなど、しっかり確認してください。その後、モーターヘッドとフィルターケースがしっかり密着していることを確認してからEZクリップで確実にロックしてください。

Ⅱ 吸水部と排水部のセット

❶クリップと吸着盤のセット

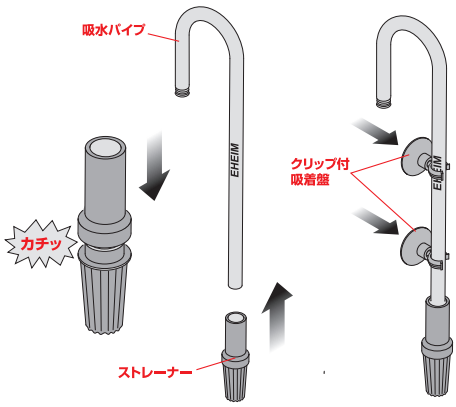
同梱のクリップと吸着盤（各4個）を、イラストのようにセットします。

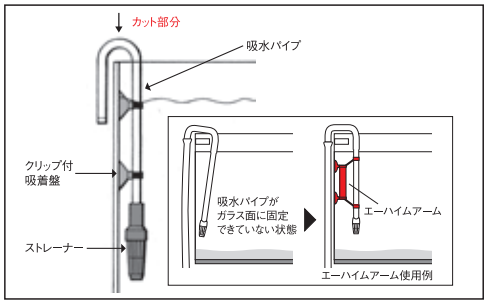


❷吸水部のセット

吸水パイプとストレーナーを接続し、水槽壁面にクリップ付吸着盤で取り付けます。
水槽フレームにより吸水パイプが傾いてしまう場合は、別売のアーム（4004560）をご使用ください。また、水槽フレームの幅が大きすぎて吸水パイプがセットできていない場合は、下図の矢印部をカットしてホースを接続してください。カット部はケガをしないように処理してください。
ホースが折れ曲がる場合には、別売のエルボーコネクター（4015100）をご使用ください。吸水パイプが長い場合、ストレーナーが底砂から10cm以上になる位置を目安にカットしてご使用ください。

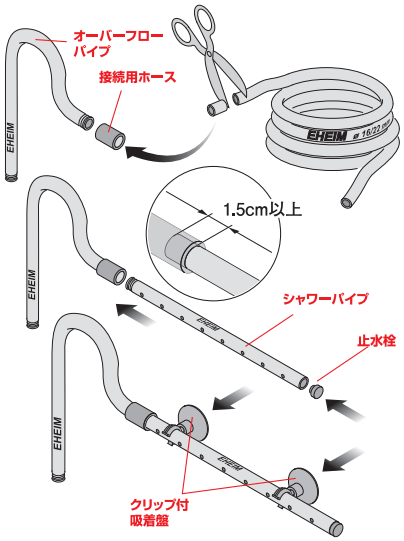
※底砂を吸わないように、水槽底面（底砂上面）とストレーナー最下部は10cm以上距離を開けてください。また、水槽内にエアレーションやCO2添加をおこなう場合は、ストレーナーから吸い込まれないよう十分に距離を開けてください。

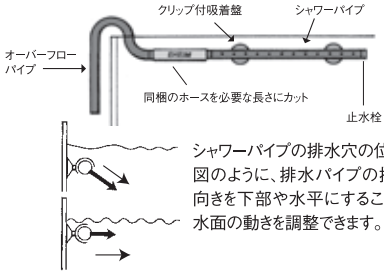




❸排水部のセット

イラストのようにオーバープローパイプとシャワーパイプを接続用ホースによって接続し、止水栓をセットしてから、クリップ付吸着盤で取り付けます。



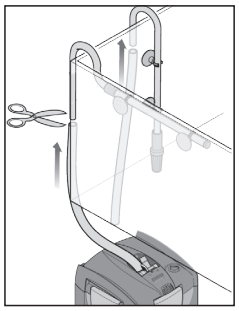


シャワーパイプの排水穴の位置
図のように、排水パイプの排水穴の向きを下部や水平にすることにより、水面の動きを調整できます。

セット時は、シャワーパイプを水面より上にセットすることにより、呼び水（フィルター内のエアー抜き）がスムーズにおこなえます。

Ⅲ 吸水ホースと排水ホースの取り付け

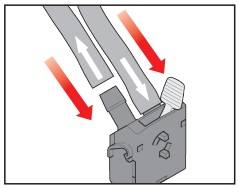
❶ホースのカット



吸水と排水のホースは、折れ曲がりやたわみが無いように吸水パイプ、シャワーパイプに合わせてカットします。カットする際はホースの切り口が斜めにならないよう、まっすぐに切ってください。
※折れ曲がったホースは、熱湯に浸すことでやわらかくなり、矯正できます。熱湯に浸す場合はやけどに注意してください。

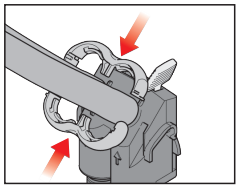


❷ホースをホースアダプターに取り付け



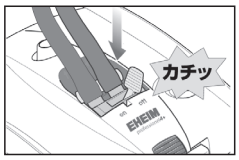
本体正面（ホースアダプターをモーターヘッドにセットした状態）から見て、向かって右側に吸水、左側に排水、それぞれのホースを根元までしっかりと取り付けます。イラストのホースの中の矢印は水流の向きを示し、赤い矢印はホースをホースアダプターに取り付けることを示しています。この作業は、モーターヘッドからホースアダプターを取り出した状態でおこなうことも可能です。ホースをホースアダプターに取り付ける際は、くれぐれも吸水側、排水側の取り付け間違いにご注意ください。

❸ホースクランプの取り付け

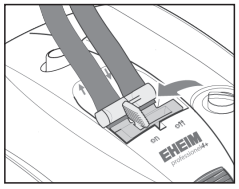


ホースアダプターに取り付けたホースの付け根の部分に、ホースクランプをしっかりと確実に固定します。

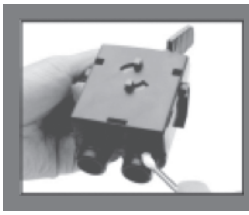
Ⅳ ホースアダプターのセット



ホースアダプターをモーターヘッドに装着する際は、ゆっくりと押し込んでいき、「カチッ」と音がするまで確実にはめ込みます。
このとき、シャットオフレバーは必ず「OFF」の位置にしてください。
また、レッドセーフティキャッチにはさわらないでください。



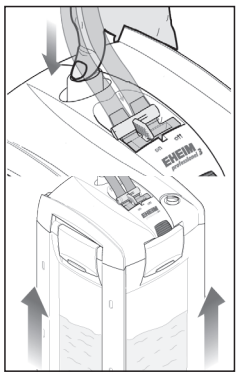
ホースアダプターのシャットオフレバーを「ON」の方向にいっぱいまで傾けます。これでホースアダプターがモーターヘッドにロックされると同時に、吸水口と排水口が完全に開放されます。シャットオフレバーが「ON」の位置に移動しない場合は無理をせず、ホースアダプターを外し、もう一度装着し直してください。



⚠ホースアダプタやシャットオフレバーは定期的に洗浄し、Oリングやボール弁にワセリンの塗布をおこなってください。

メンテナンスが不十分な場合、レバーの動きが悪くなったり、破損する恐れがあります。

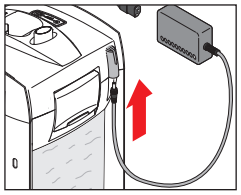
Ⅴ 呼び水のしかた



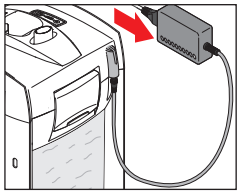
必ずシャットオフレバーが「ON」の位置になっていることを確認してください。
呼び水レバーをしっかりと奥まで数回押し込むと、フィルターケース内に水槽から水が導かれます。フィルターケース内が満水になり、排水ホース内の水位が水槽の水位と同じまで上昇していることを確認してください。

Ⅵ 電源の入れかた

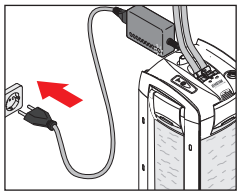
※かならず呼び水をおこない、フィルターケース内およびインペラ室内が水に満たされた状態で電源を入れてください。
※電源アダプターのDCプラグをモーターヘッドに接続した後、最後に電源プラグをコンセントに差してください。



①フィルターケース内が満水になっていることを確認し、電源アダプターのDCプラグをモーターヘッドの受け口に差し込みます。この時点では電源コードと電源アダプターは接続していない状態です。



②電源アダプターと電源コードを接続します。この時点では電源プラグをコンセントに差し込まないでください。



③最後に電源プラグをコンセント（100V）に差し込み、本製品を作動させます。
フィルター本体を作動させてから30～60分程の間は、正常に作動しているか、また各部に水漏れ等がないか確認してください。

呼び水をおこないフィルターを作動させたのち、無線LAN接続を行い、流量調節などの各種設定を行ってください。

本体無線LANとデバイスの接続について

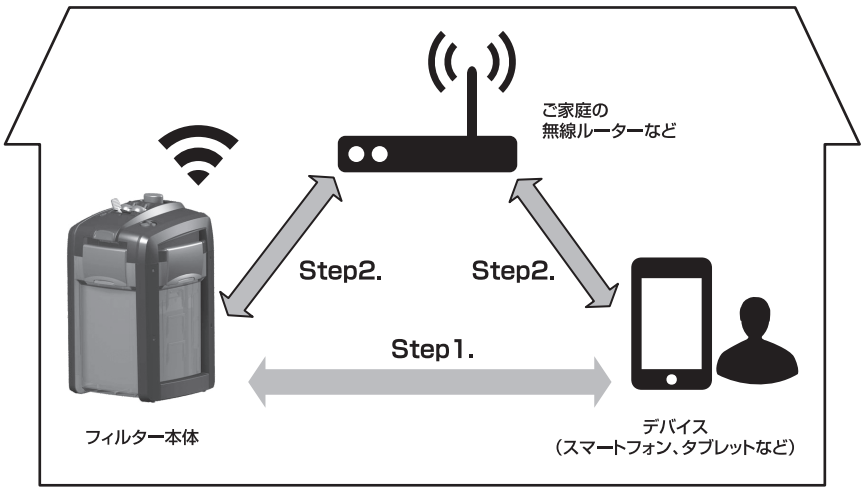
本製品は、本体内蔵の無線LANとご家庭の無線LAN（Wi-Fi）を接続して操作します（※）。無線LAN規格に対応したデバイス（スマートフォン、タブレット、PC等）およびご家庭の無線LAN（Wi-Fi）環境をご用意ください。ソフトウェアのアップデート等により、内容が変更される場合があります。詳しくはhttp://www.eheim.jpの商品ページをご確認ください。

※以下の手順は、エーハイムデジタル機器を初めて使用する際の接続方法です。複数台使用する場合の、2台目以降の接続方法は、ここで説明している方法とは異なります。2台目以降の接続方法については、http://www.eheim.jp/のエーハイムデジタル機器の商品ページにある画面操作マニュアルをご確認ください。

Step1. 本体無線LANとデバイスを接続する

1. p10～p13を参考に外部フィルターを接続し、呼び水をおこなったのち、電源プラグをコンセントに差し込んで作動させます。
2. ポンプ本体のインジケーターLEDが点灯します。
   ・白色⇒青色に点滅：ネットワークの検索または作成中　　・青色に点灯：ネットワークの作成完了
3. インジケーターLEDが青色に点灯したことを確認後、デバイス（スマートフォン、タブレット、PC等）のネットワーク設定画面（Wi-Fiの設定）を開くか、QRコード1を読み込みます。QRコード1を読み込んで接続した場合は、次の手順4. は不要ですので手順5. に進んでください。QRコードは本体シールに記載されています。
4. Wi-Fiネットワークを、フィルターの無線ネットワーク #EHEIM Filter_XXXXXXXX（機体別識別番号）に切り替えます。本体シールに記載されているパスワードを入力して接続してください。
5. Wi-Fiが接続されたことを確認後（例：デバイスに無線LANマーク が表示されるなど）、インターネットブラウザを開き、Webアドレス **http://192.168.1.1** を呼び出すか、QRコード2を読み込みます。
   ※インターネットには接続されておらず、予測検索は使えません。アドレスは正確に入力してください。
   ※Wi-Fi設定直後は接続が不安定な場合があります。数分程度時間を置いて入力することをおすすめします。

※操作画面の詳細説明についてはhttp://eheim.jpより画面操作マニュアルをダウンロードしてご覧ください。



QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

Step2. ご家庭の無線LAN経由で、フィルター本体無線LANとデバイスを接続する

インターネット（ご家庭の無線LAN等）と接続することで、ソフトウェアのアップデートやフィルター本体からのアラートEメールの受信が可能になります。

※Step1のみでインターネット（ご家庭の無線LAN(Wi-Fi)）と接続せずにご使用いただくことも可能ですが、端末操作および機能が制限されるため、おすすめいたしません。
※本製品とインターネットとの接続は無線LAN（Wi-Fi）に限ります。有線LANによる接続はできません。
※外出先のWi-Fiなど、本体に接続した無線LAN以外のネットワークによる接続･操作はできません。

1. 前ページStep1.（1～5）の方法で、本体内蔵の無線LANとデバイスを接続し、フィルターの登録、各種設定をおこなってください。

2. 操作画面上の「設定」アイコンから設定画面に進み、「ネットワーク設定」を選択し、ネットワーク設定を呼び出します。

3. 「接続可能なネットワークとの接続」>「ネットワークの検索」を選択します。

4. 接続したいWi-Fiネットワークを選択し、パスワードを入力して接続します。この時、2.4GHz帯のWi-Fiネットワークを選択しているかご確認ください。

5. 接続に成功すると最終画面下部に複数のURLが表示されます。後で必要になるURLのため、**必ずメモ・スクリーンショットなどで保存してください。**チェックボックスにチェックを入れ、「接続」ボタンを押してください。本体のインジケーターLEDが青点灯になるまで待ってからブラウザをいったん閉じてください。デバイス（スマートフォン、タブレット等）の機種や設定によっては自動で画面が遷移する場合があります。その場合は画面を閉じる必要はありません。2回目以降の操作画面を開く方法については次項に記載した手順をご覧ください。

6. デバイスのネットワーク設定を開きます。
   Wi-Fiの接続先候補から#EHEIM Filter_XXXXXXXXが表示されなくなりますので、手順4.にて接続したネットワーク（ご家庭の無線LAN等）を選択してください。

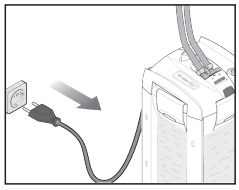
7. 再度インターネットブラウザより、手順5で表示された1番目のURL **http://eheimdigital.local/** または2番目のURL **http://eheimdigital/**を入力します。これらのURLでも接続できない場合は、3番目のURL **http://192.168.●●.△△**を入力し、操作画面を開いてください。
   ※お使いのデバイスのOSやブラウザによって接続できるURLが異なります。
   ※使用開始後にWi-Fiルーターの電源が切れた場合は、先のURLを入力しても操作画面が開けなくなる場合があります。その場合はフィルター本体をリセットし、もう一度Step.1からやり直してください。

※接続手順がうまくいかずやり直したい場合や、外部ネットワークとの接続を解除したい場合は、本体LED下部の指型のくぼみに6～8秒間、指をのせてください。本体LEDが点滅し、ネットワーク接続がリセットされます。

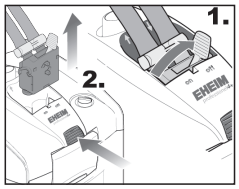
点検、お手入れ

Ⅰ プレフィルターコンテナの掃除

もっとも汚れやすいプレフィルター部分は、飼育条件を考慮して定期的に掃除してください。



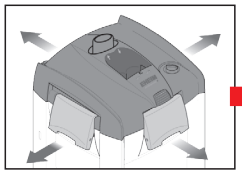
❶電源プラグをコンセントから抜きます。

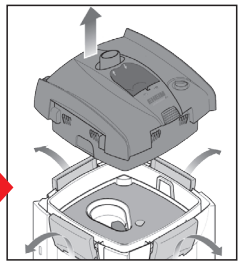


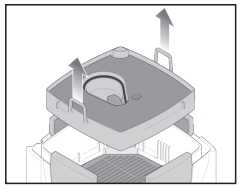
❷ シャットオフレバーをOFF側に倒し、レッドセーフティキャッチを押しながらホースアダプターを取り出します。

❸モーターヘッドの取り外し

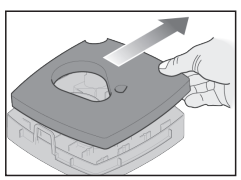
フィルターケースの側面4箇所にあるEZクリップを解除し、モーターヘッドを取り外します。



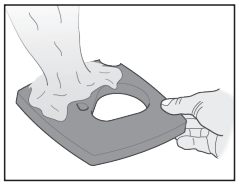




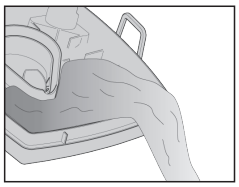
❹ プレフィルターコンテナを取り出します。



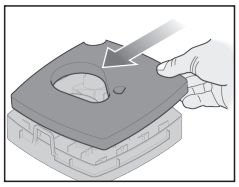
❺ 粗目フィルターパッド（ブルー）を取り出します。



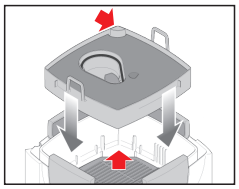
❻粗目フィルターパッド（ブルー）を水洗いします。



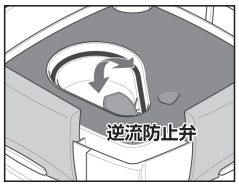
❼ プレフィルターコンテナの中に溜まったゴミや砂等を水で洗い出します。



❽水で洗った粗目フィルターパッド（ブルー）を再びプレフィルターコンテナにセットします。
※使用環境にもよりますが、粗目フィルターパッド（ブルー）は、6ヶ月に1度が交換の目安となります。

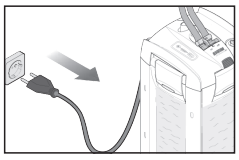


❾ プレフィルターコンテナをフィルターケース内に戻します。この際、吸水サポート部（イラスト内赤色矢印）が合うように向きに注意して入れてください。

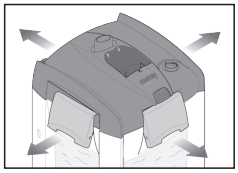


❿逆流防止弁は必ず上に開閉する機能です。スムーズに開閉することを確認してください。

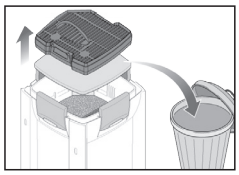
Ⅱ ろ材の洗浄



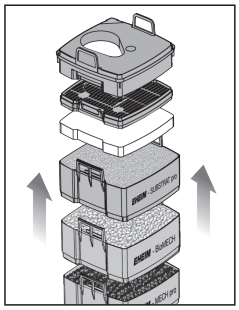
❶ 電源プラグをコンセントから抜きます。



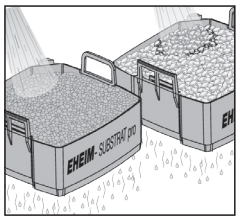
❷シャットオフレバーをOFF側にいっぱいまで傾け、レッドセーフティキャッチを押し込んでホースアダプターを取り出します。その後、EZクリップを解除してモーターヘッドを取り外します。



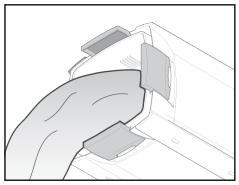
❸プレフィルターコンテナおよびろ材コンテナを全て取り出します。最上段のろ材コンテナ内に使用している細目フィルターパッドは、もみ洗いなどの洗浄をおこなうとへたりなどの劣化を早めることになるため、洗浄はおこなわず、定期交換する必要があります。
※使用環境にもよりますが、細目フィルターパッドは、1ヶ月に1度が交換の目安となります。



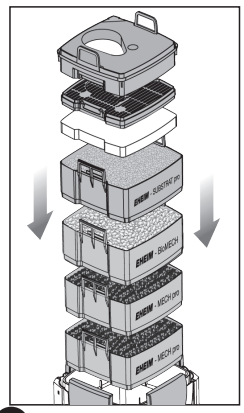
❹ ろ材コンテナを順番に取り出します。



❺ろ材を飼育水で軽く洗います。水道水を使用する場合は、バクテリアが死滅する恐れがあるため、予めカルキを抜き、飼育水と温度をあわせた水を使用してください。

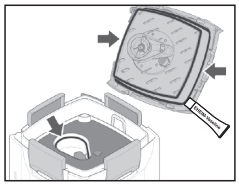


❻フィルターケース内の汚れ等を洗い出し、フィルターケース内を空の状態にします。

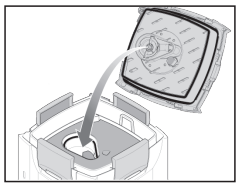


❼フィルターケース内に、洗浄が終わったろ材コンテナを取り出す前と同じ順番でセットします。

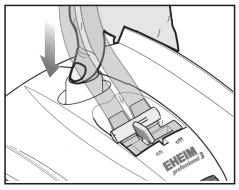
プレフィルターのセットについてはⅦ⑨⑩をご確認ください。



❽プレフィルターOリング、プレフィルターケースOリングやOリングを収めた溝に汚れなどが付着している場合は、きれいに掃除をしてエーハイムワセリンを塗布してください。

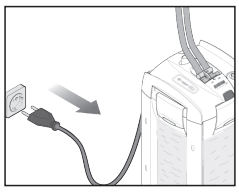


❾フィルターケースにモーターヘッドを装着します。セットの手順、点検・お手入れ～⑦モーターヘッドの装着を参照してください。

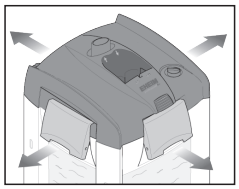


❿ ホースアダプターを取り付け（ホースアダプターのセットを参照）、呼び水レバーをおして水を呼びこみます。
ホースアダプターを取り付ける前に、Oリング部分にエーハイムワセリンを塗布してください。

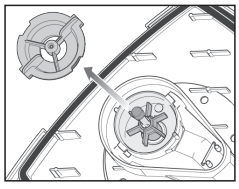
Ⅲ インペラー部分の掃除



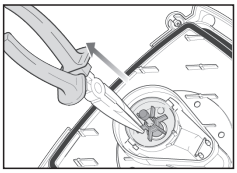
❶電源プラグをコンセント（100V）より抜きます。



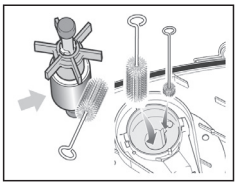
❷シャットオフレバーをOFF側にいっぱいまで傾け、レッドセーフティキャッチを押し込んでホースアダプターを取り出します。その後、EZクリップを解除してモーターヘッドを取り外します。



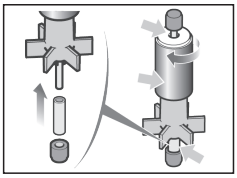
❸ポンプカバーを左（反時計回り）に回して取り外します。



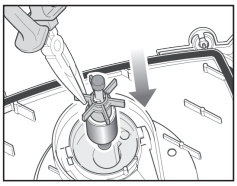
❹ラジオペンチ等でインペラーを取り出します。



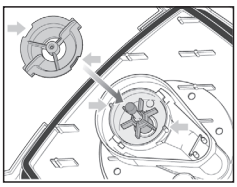
❺インペラーやその周りの部分は、エーハイムインペラーブラシ（4009560）を使用して水アカやゴミを取り除きます。



❻インペラーを分解して掃除した場合、スピンドルおよびスピンドルラバーを元通りにセットした後、マグネット部分を左右に回してスムーズに動くことを確認してください。

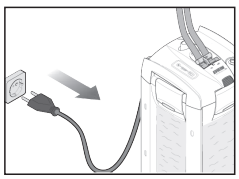


❼掃除が終わったインペラーを、ラジオペンチ等で元の位置にセットします。

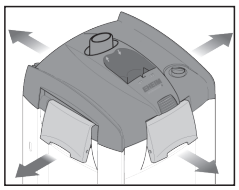


❽ポンプカバーを右（時計回り）に回しながら取り付けます。

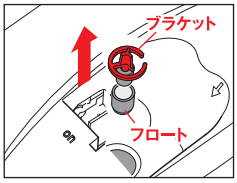
Ⅳ フロートの掃除



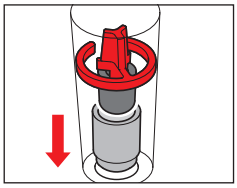
❶電源プラグをコンセントから抜きます。



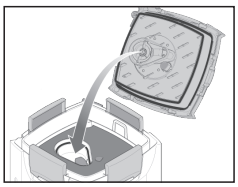
❷シャットオフレバーをOFF側にいっぱいまで傾け、レッドセーフティキャッチを押し込んでホースアダプターを取り出します。その後、EZクリップを解除してモーターヘッドを取り外します。



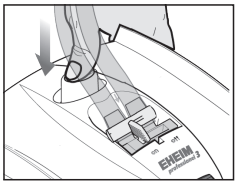
❸ラジオペンチ等でブラケットおよびフロートを取り出し、良く洗います。



❹洗浄が終わったブラケットに黒いラバーをしっかり取り付け、フロートとともに元の位置にセットします。必ず排水側にセットしてください。



❺フィルターケースにモーターヘッドを装着します。P11の⑦モーターヘッドの装着を参照してください。

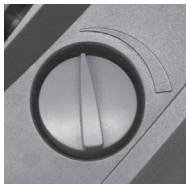


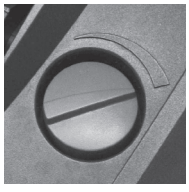
❻ ホースアダプターを取り付け（ホースアダプターのセットを参照）、呼び水レバーをおして水を呼びこみます。
ホースアダプターを取り付ける前に、Oリング部分にエーハイムワセリンを塗布してください。

■エクステンダーノブの使用

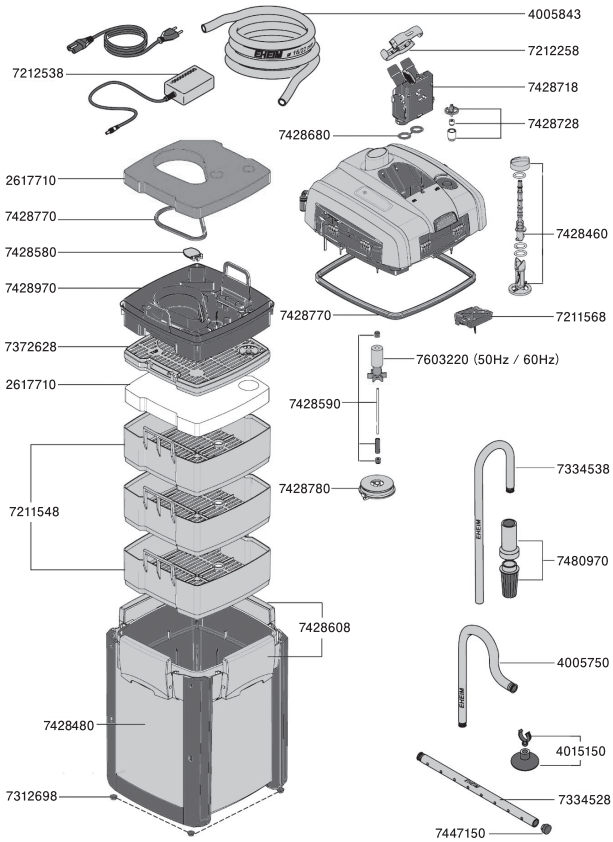
ろ材が目詰まりした場合、エクステンダーノブを使用して流水量を一時的に増加させることができます。すぐに掃除をおこなう時間がない場合は、この機能によって生物濾過能力を維持し、フィルターの掃除のタイミングを2～3日延期することができます。

※エクステンダーノブの可動域は90°です。無理に動かすと、破損したり、水漏れの原因となる恐れがありますのでご注意ください。
※エクステンダーノブは、通常時は使用しないでください。


通常使用時


エクステンダーノブ使用時

主要部品図



モーターヘッド部

エーハイムコード	品　名
7211568	モーターヘッド止水カバー
7212258	ホースクランプ
7428680	ホースアダプター用Oリング
7428718	ホースアダプター
7428728	フロートセット
7428460	エクステンダーセット
7428770	Oリングセット
7428780	ポンプカバー
7603220	インペラー（50/60Hz共通）
7428590	スピンドル/ラバー（スリーブ付き）
7212538	電源アダプター（電源プラグなし）

フィルターパッド

エーハイムコード	品　名
2617710	フィルターパッドセット ・粗目パッド/プレフィルター用　1枚 ・細目パッド　4枚
2628710	活性炭フィルターパッド（3枚入）

フィルターケース部

エーハイムコード	品　名
7211548	ろ材コンテナ（1個）
7372628	ろ材コンテナカバー
7312698	クッションラバー
7428580	逆流防止弁
7428608	EZクリップ（1個）
7428480	フィルターケース
7428970	プレフィルターコンテナ

吸・排水部

エーハイムコード	品　名
4005750	オーバーフローパイプ
4005843	ホース（16/22mm）
4015150	クリップ付吸着盤
7334538	吸水パイプ
7447150	止水栓
7334528	シャワーパイプ
7480970	ストレーナー

故障かな?と思ったら

● モーターヘッドをフィルターケースに装着できない(EZクリップが閉まらない)

原　因	処　置　方　法
フィルターケース内に入れるものの順番や向きが間違っている。	正しく入れ直す。
ろ材などが入りすぎている。	ろ材を適正な量に調整する。(p10-11参照)
プレフィルターコンテナやろ材コンテナが正しくセットされていない。	正しくセットしなおす。(p10-11参照)
Oリングが正しく収まっていない。	Oリングを正しい位置にセットし直す。 また、水漏れの原因となるのでOリングの破損や傷の合わせてチェックする。

● モーターヘッドとフィルターケースの間から水が漏れる

原　因	処　置　方　法
EZクリップが正しくロックされていない。	4つあるEZクリップをそれぞれ正しく確実にロックする。
OリングやOリングが噛み合う溝などが汚れていたり異物を挟んでいる。	汚れや異物を取り除き、Oリングの破損や傷も合わせてチェックする。 Oリング保護のためのエーハイム ワセリン(7345988)を塗布する。
Oリングがねじれていたり、劣化してヒビ割れが生じている。	正しい位置にセットし直す。Oリングが劣化している場合は交換する。

● モーターが動かない

原　因	処　置　方　法
電源が入っていない。	電源プラグをコンセントに差し込む。
空転を検知し自動停止した。	正しく呼び水を行ってから電源を入れる。
スピンドルが折損している。	スピンドルを交換する。
インペラーがセットされていない。 あるいはインペラーが異物をかみ込んでいる。	インペラーのセット状況を確認する。異物が原因の場合は取り除く。

● 異音がする

原　因	処　置　方　法
フィルター内にエアーが残っている。	自動で排出されない場合は、呼び水ボタンを押したり、本体を軽く揺らしたり、 リセットまたは電源を入れ直す。
ろ材が目詰まりしている、またはホースが汚れている。	ろ材およびホースの掃除をおこなう。
吸水または排水に抵抗がある。	吸水ストレーナーまたはシャワーパイプなどに目詰まりがないか確認する。
インペラーが磨耗している。	インペラーを交換する。

● シャットオフレバーがひっかかる

原　因	処　置　方　法
シャットオフレバーの動きがきつくなっている。	シャットオフレバーの可動部と白いバルブにエーハイム ワセリン(7345988) を塗布し、数回動かして滑らかに動くようにする。

● 呼び水ができない

原　因	処　置　方　法
プレフィルターコンテナ内の逆流防止弁が正しく取り付けられていない。	逆流防止弁を正しく取り付ける。
ブラケットおよびフロートが正しくセットされていない。	ブラケットを正しく入れ直す。(p18参照)
水槽の水位が低すぎる。	水槽の水位を高くする。(p8参照)
クーラーなど、接続経路に水が入っている。	クーラーなどの水を抜いてから呼び水をおこなう。
プレフィルターコンテナに水が入っている。	プレフィルターコンテナに水が入っていると呼び水ができないため、 プレフィルターコンテナから水を抜いて、再度呼び水をおこなう。
シャットオフレバーがOFFの状態になっている。	ホースアダプターが正しく取り付けられていることを確認し、 シャットオフレバーをONの方向にいっぱいまで傾ける。

※シャットオフレバーは、日ごろよりエーハイムワセリンを使用してメンテナンスしておくと、とりはずしがスムーズにおこなえます。

● 流量の大幅な低下

原　　因	処　置　方　法
シャットオフレバーが正しい位置「ON」にセットされていない。	ホースアダプターが正しく取り付けられていることを確認し、シャットオフレバーをONの方向にいっぱいまで傾ける。
ホースアダプターの内部が汚れている。	ホースアダプターの内部を排水口や吸水口からパイプクリーナー(4005551)を使ってよく洗浄する。
ホースが折れたりつぶれたりしている。	ホースの折れた箇所やつぶれた箇所を矯正する。
ホースの内部がひどく汚れたり詰まったりしている。	ホースクリーナー(4005570)を使ってホースの内部をよく洗浄する。
ストレーナがゴミなどで詰まっている。	ストレーナを掃除してゴミを除去する。
ろ材やろ材コンテナが汚れている。	ろ材やコンテナを洗浄して汚れを除去する。
ろ材をネットバッグに入れてろ材コンテナに入れている。	ネットバッグを使用しない。
本製品の使用に適さないろ材を使用している。	純正品のろ材を使用する。
ろ材の配置の順番が間違っている。	正しい順番に直す。(p10-11参照)
細目フィルターパッドの入れ方を間違っている。	細目フィルターパッドを正しい位置にセットする。(p10-11参照)
フィルターパッドが汚れている。	フィルターパッドを洗浄または交換する。
インペラーが汚れている、または異物がかみこんでいる。	インペラーおよびその周辺を掃除する。
フィルターケース内に空気が溜まっている。	本体を軽くゆするなどして空気を抜く。
ブラケットおよびフロートが汚れている。	ブラケットおよびフロートを掃除する。(p18参照)

● エアがみが治らない(フィルター内に空気が残っている／入っている)

原　　因	処　置　方　法
本製品が正しい位置に設置されていない。	本製品の上端が、水槽より低い位置になるよう設置する。
ホース接続部などから空気を吸い込んでいる。	吸水パイプとホースの接続部など、ホースの接続部を全て確認し、空気の吸い込みを解消する。
ディフューザーなどからの微細な気泡を吸い込んでいる。	ディフューザーの設置位置を変えてストレーナから気泡を吸い込まないようにする。またはディフューザーの使用をやめる。
流量が低下してフィルター内の空気が排出されない。	流量低下の原因を解消する。
ストレーナー近くでエアレーション(エアポンプ)している。	エアーがストレーナーに入らないよう遠ざける。

● デバイス(スマートフォン、タブレット、PC等)への無線LAN接続ができない

原　　因	処　置　方　法
対応しているデバイスではない。	2.4～2.5GHz、無線LAN規格IEEE802.11b/g/nに対応したデバイスを使用する。(p14参照)
設定したパスワードを忘れた。	インジケーターLED下部の指型のくぼみに指を5～8秒間のせ、無線LAN接続をリセットする。

● 無線LAN接続できたが、ソフトウェア操作画面が開けない

原　　因	処　置　方　法
WEBアドレス(URL)が間違っている。	URLの先頭から正確に入力する。(p14参照)
機器間の通信ができないアクセスポイントを使用している。(Wi-Fiスポット、公衆無線LANサービスなど)	家庭用無線LANなど機器間の通信がおこなえるアクセスポイントを使用する。
無線LANの電波が安定していない。	インジケーターLEDが青色に点灯した後、数分経過してから再度ブラウザを開きURLを入力する。

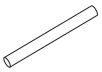
※ソフトウェア操作およびインジケーターLEDの表示についてはhttp://www.eheim.jpよりご確認ください。
※デバイスの操作や接続環境に関するご質問やお問い合わせについてはお答えできかねますのでご理解ください。
※上記に該当しない場合は、エーハイム製品販売店または弊社カスタマーサポートにご相談ください。

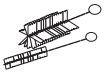
ご注意!

1. 品質向上等のため、予告なく使用を変更することがあります。
2. 誤ったご使用方法に起因する損害につきましては責任を負いかねます。
3. 飼育されている魚など整体の病気や死亡、水草の枯れに対する補償は致しかねます。予めご了承下さいますようお願い申し上げます。

MEMO

プロフェッショナル5e 2274　適合アクセサリー表

	アイテム名
	2274用
	**ホース**（1mにつき）（吸排水同じ）
	4005940（緑色） 4005840（黒色）
	**ホース**（3m巻き）（吸排水同じ）
	4005949（緑色） 4005843（黒色）
	**ダブルタップ**
	4005410
	**タップ**
	4005510
	**エルボーコネクター**
	4015100（緑色）
	**クリップ付吸着盤**
	4015150
	**プラスチックパイプ**
	4005800（緑色）
	**オーバーフローパイプ**
	4005710（緑色） 4005750（黒色）

	アイテム名
	2274用
	**ディフューザー**　（※）
	4005651
	**ホースバンド**
	4005530
	**パイプクリーナー**
	4005551
	**ホースクリーナー**
	4005570
	**インペラーブラシ**
	4009560
	**T-ジョイント**
	4005950
	**エーハイムワセリン**
	7345988

※ マニュアルモードでの使用推奨

交換用フィルターパッドセット

	**フィルターパッドセット**（プレフィルター用粗目パッド1枚、細目パッド4枚）
	2617710

日本総代理店
神畑養魚株式会社
用品部　〒670-0073　兵庫県姫路市御立中3-3-20

【製品に関するお問い合わせ】
TEL **079-297-5420**　FAX **079-293-6467**
ホームページアドレス　https://www.kamihata.co.jp

エーハイム製品専用ページ　http://www.eheim.jp

機種別分解図、各種取扱説明書、アクセサリー別の使用方法や分解図などがご覧になれます。

※この製品は、改良のため予告なく仕様・デザインを変更することがあります。予めご了承願います。

7225770/04.23